

かんぜきゆうこうかい  
**観世九臈会**



**七月**  
定例会

令和3年7月11日(日)  
於 矢来能楽堂

【第1部】12:30開演(12:00開場)  
14:10終演予定  
—客席入れ替え—

【第2部】15:00開演(14:30開場)  
16:50終演予定

※新型コロナウイルス等の感染防止の観点より、当面の間、公益社団法人能楽協会の「能楽堂における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」、ならびに公益社団法人全国公立文化施設協会の「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って公演を開催いたします。

新型コロナウイルスの感染状況や行政機関などによる指示、各種ガイドラインの変更・更新等に伴い、内容に変更がでる場合がございます。最新情報は矢来能楽堂ホームページや公式ツイッターなどでも随時お知らせいたしますので、ご来館時などには必ずご確認くださいませようお願いいたします。

## 感染予防にご協力をお願いいたします。

### ◆ ご来場の際のお願い

- ・体調不良の方は、当日でもご来場をお控え下さい。
- ・ご入場の際は必ずマスクを着用ください。
- ・入口にて手指のアルコール消毒と検温にご協力下さい。
- ・37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。(上記にご協力いただけない方には、ご入場をお断りいたします。)
- ・上記にて入場不可となった方へは、ご事情を伺った上で、払い戻しをさせていただきます。チケットを半券ともにご保管の上、ご連絡下さい。

### ◆ 会場内でのお願いなど

- ・喫茶室は閉室しております。会場内でのお食事はご遠慮下さい。
- ・場内のウォーターサーバーは、使用停止とさせていただきます。
- ・水分補給のためのお飲み物は、ご持参ください。
- ・ブランケットの貸出は当面いたしません。
- ・換気のため、お席によっては空調が強くとどろきがございます。ご自身にて上掛け等をご持参ください。
- ・出演者へのご面会、お差し入れは当面の間、ご遠慮ください。
- ・矢来能楽堂のお手洗いは数が大変に限られております。なるべくご来場前にお済ませ頂き、ご利用の際は間隔をあけてお並びください。

### ◆ 上演にあたってなど

- ・上演中も、マスクの着用をお願いいたします。
- ・舞台上も出演者の感染予防対策を講じた形式での上演とさせていただきます。
- ・公演の前後および休憩中には外気を入れ、会場内の換気をいたします。
- ・場内換気のため、上演中もロビーとの扉は開けさせていただきます。
- ・1部、2部の入替時に館内消毒作業をいたします。
- ・1部、2部とも続けてご覧になる方も、一旦退館をお願いいたします。
- ・万一、来館者ならびに出演者・スタッフに感染が疑われる者が後日、発生した際は、所轄の保健所へご来場者様情報を提出させていただきます。

このほか、矢来能楽堂ホームページにて、「矢来能楽堂における感染予防措置」をご確認の上ご来場ください。

皆様の健康と安全を第一に考えております。

皆さまにはご不便をおかけすることもございますが、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

矢来能楽堂・公益社団法人 観世九臈会

### 全指定席(各部)

正面席 5,500円 / 脇正面・中正面席 4,400円  
学生券(脇正面・中正面) 2,200円  
※学生券は26歳未満(要学生証)  
未就学児入場不可  
1部2部通しセット(脇正面・中正面のみ) 7,800円

### 【お申込み・お問合せ】

矢来能楽堂・観世九臈会  
電話：03-3268-7311  
FAX：03-5261-2980  
メール：yarai@eos.ocn.ne.jp  
http://yarai-nohgakudo.com/



### 【注意事項】

- ・記載の演目・演者等はやむを得ない都合により変更になる場合がございます。
- ・許可のない録音・撮影は一切禁止です。
- ・携帯電話は電源からお切りください。
- ・演能やほかのお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。場合によっては退場していただく場合がございます。

表紙写真「大飛出」撮影：青木信二

ご注文・お問合せ （株）能楽書林 九段下駅徒歩すぐ TEL 03-3264-0846 FAX 03-3264-0847 メール shonin@mercury.plala.or.jp	『横からみた能・狂言』 長年、NHKの能楽放送に携わった著者が著した、現場ならではの「放送うらばなし」をはじめ、能の歴史をひもとく「能の歴史」、心に残る人々との思い出の随想「出会いと別れ」、能をモチーフとした推理小説「能舞台の目撃者」など、バラエティに富んだ内容を一冊にまとめた好読物。 四六判・二三頁 本体二〇〇円＋税	柳沢新治著 『横からみた能・狂言』 簡潔な解説で携帯にも便利な能楽鑑賞事典。見聞き一曲で、上演頻度の高い一三〇曲を厳選して収録。曲ごとに、あらすじ・みどころ・作者・素材・各流の小書きなどが書かれ、観能の手引きに最良の書。巻末に用語解説も付す。 新書判・三〇二頁 本体一四〇〇円＋税	能楽書林 権藤芳一著 『能楽手帖』 
--	---	--	-----------------------------

# 観世九臈会 七月定例会

令和三年七月十一日(日) 於 矢来能楽堂

## 【第一部】 十二時三十分開演 (正午開場)

### 番組

通盛	永島 充	金子仁智翔
雲雀山	観世喜之	小島 英明
仕舞		地謡 弘田 裕一
大山	奥川恒治	観世喜正
		河井美紀

—— 休憩五分 ——

(十二時五十分頃)

後ツレ 長山耕三  
前ツレ 石井寛人  
シテ 桑田 貴志

## 賀茂

Kano

ワキ 館田 善博	大鼓 大倉正之助	太鼓 桜井 均
ワキシメ 梅村 昌功	小鼓 飯富孔明	笛 小野寺竜一
ワキツレ 小林 克都		
間 大藏 教義		

後見 小島 英明  
佐久間二郎

久保田宏二  
鈴木 啓吾  
地謡 中森 貫太  
遠藤 喜久  
中森健之介

## 【第二部】 午後三時開演 (午後二時三十分開場)

### 番組

狂言 蟹山伏	シテ 大藏彌右衛門	アト 大藏彌太郎
Kaniyambushi	シテ	アト 大藏 章照
		後見 小梶 直人

—— 休憩十分 ——

(午後三時三十分頃)

シテ 中所宜夫

## 能 藤戸

Fujito

ワキ 森 常好	大鼓 佃 良勝	笛 熊本俊太郎
ワキツレ 梅村 昌功	小鼓 観世新九郎	
ワキツレ 館田 善博		
間 吉田 信海		

後見 永島 充  
永島 忠修

奥川恒成  
坂真太郎  
地謡 駒瀬直也  
遠藤和久  
新井麻衣子

### 附祝言

(終演予定 午後二時十分)

(終演予定 午後四時五十分)

《あらすじ》

## 能 賀茂

初夏、播州(今の兵庫県)室明神の神職(ワキ)が都の上賀茂神社を訪れた。川辺で水桶を持った二人の女(シテ・ツレ)に出会った神職は、白い矢を祀った祭壇は何かと問う。女は、この矢は別雷神を表し、昔、川を流れて来た矢を拾った女(御祖神)が別雷神を身ごもったと語る。神職は縁起に詳しい女に興味を抱き名を聞くと、神であるとして体を明かし姿を消す。(中人)

残された神職の前に御祖神(後ツレ)が現れて舞を舞い、次いで別雷神(後シテ)が現れる。国土安穩、五穀豊穣を祈り、御祖神は糺の森へ、別雷神は虚空へ姿を消す。後半、ツレの優雅な女舞とシテの力強い動きの比較が楽しめる曲。

## 狂言 蟹山伏

かにやまぶし

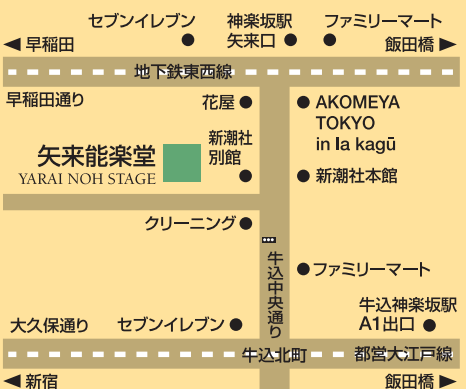
## 能 藤戸

Fujito

狂言ではお馴染みの山伏物だが、今回の山伏が相手するのは蟹の精。カニらしくはさみを振り上げ山伏をはさんだり、横歩きで登場したりと場を盛り上げる。

源平の戦の後、佐々木盛綱は藤戸の戦いで先陣の功を挙げた為児島の地を賜る。新領地に着いた盛綱は、領民の訴えを何でも聞くことにした。そこへ女が現れ、藤戸の戦の折、盛綱に我が子(漁夫)を殺された恨みを述べる。漁夫を殺した事を思い出した盛綱は、女の強い訴えに心を動かされる。我が子を返せと迫る女に盛綱は供養することを約束する。(中人)

供養をしているとそこへ、漁夫の霊が現れ、殺された恨みを述べるが、やがて弔いを受け入れて成仏する。後半、後シテが杖を刀に見立てて盛綱に殺された有様を生々しく再現する舞が藤戸の見所の一つとなっている。



162-0805 東京都新宿区矢来町60

地下鉄東西線神楽坂駅 矢来口より徒歩2分 都営大江戸線牛込神楽坂 A1出口より徒歩5分 駐車場はございません。近隣のコイン駐車場をご利用ください。